

[成果情報名]水稲品種「あきさかり」の奨励品種採用

[要約]水稲品種「あきさかり」は「キヌヒカリ」と比較して、出穂期は約4日、成熟期は約6日遅い。収量および玄米外観品質に優れ、食味は同等であることから、奨励品種に採用する。

[キーワード]イネ、あきさかり、徳島県、奨励品種

[担当]農産園芸研究課

[代表連絡先]電話 088-674-1944

[研究所名]徳島県立農林水産総合技術支援センター

[分類]普及成果情報

[背景・ねらい]

「キヌヒカリ」は県内水稲作付面積の約3割を占めているが、近年、登熟期の高温による白未熟粒の発生や穂発芽などによる品質の低下がみられる。そこで、「キヌヒカリ」に近い熟期で、登熟期の高温による品質の低下が少なく、穂発芽しにくい良食味の品種を選定し、奨励品種に採用する。

[成果の内容・特徴]

「あきさかり」の特徴は「キヌヒカリ」と比較すると次のとおりである。

1. 出穂期は4日程度遅く、成熟期は6日程度遅い（表1、2）。
2. 稈長は約5cm低く、耐倒伏性は同程度である（表1、2）。
3. 穂数は多く、玄米千粒重は同程度である。精玄米収量は優っている（表1、2）。
4. 玄米の外観品質は良質である（表1、2）。整粒歩合は高く、乳白粒（心白粒が主）、白未熟粒の発生も少ない（表3）。
5. 玄米の蛋白含有率はやや低く（表1、2）、食味は同等である（表4）。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象：県内水稲生産者
2. 普及予定地域・普及予定面積：「キヌヒカリ」などの栽培地域で、高温登熟障害の発生が多い地域を中心に普及を図る（2,100ha）。
3. その他
 - 1) 2016年10月18日に徳島県の奨励品種に採用された。
 - 2) 茎数が多いため紋枯病が発生することがあるので適宜防除を行う。
 - 3) 白葉枯病に弱いので、常発地での栽培はさける。
 - 4) 葉いもちに対して「やや弱」のため、適期防除に努める。
 - 5) 「キヌヒカリ」に比べ穂発芽はしにくい、「コシヒカリ」に比べると穂発芽しやすいので、適期刈取りに努める。

[具体的データ]

表1 奨励品種決定試験基本調査における成績

作期	品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	わら重	粗粒重	精玄米重	同左比	千粒重	品質	蛋白質含有率
		月.日	月.日	cm	cm	本/m ²		kg/a	kg/a	kg/a	%	g		%
早期	あきさかり	7.18	8.26	70.1	17.9	402	0.1	59.7	74.2	59.6	114	21.2	4.2	7.5
	キヌヒカリ	7.14	8.19	76.5	18.0	330	0.1	55.3	65.4	52.3	100	22.1	4.9	8.3
早植え	あきさかり	7.28	9.05	73.7	17.3	408	0.2	69.7	75.2	59.5	116	22.1	4.3	7.6
	キヌヒカリ	7.24	8.29	79.5	18.1	332	0.0	66.0	65.3	51.7	100	22.2	5.2	8.3
普通期	あきさかり	8.08	9.15	72.9	17.4	370	0.0	64.8	71.6	57.9	121	22.3	3.9	7.8
	キヌヒカリ	8.04	9.09	78.4	17.8	296	0.2	63.1	59.6	47.9	100	22.4	4.6	8.6

注1) 試験期間は早期、早植えは2009～2015年、普通期は2006～2015年。

2) 移植期は早期は4月24～26日(平均4月25日)、早植えは5月13～18日(5月15日)、普通期は5月29日～6月2日(6月1日)。

3) 栽植密度は16.7株/m²、本田窒素施肥量は1アール当たり基肥として0.5kg、穂肥として0.3kg施用。

4) 倒伏は0(無)～5(甚)、品質は1(上上)～9(下下)。蛋白質含有率は静岡製機TM3500による(玄米)。

表2 奨励品種決定調査現地試験における成績

試験地	品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	わら重	粗粒重	精玄米重	同左比	千粒重	品質	蛋白質含有率
		月.日	月.日	cm	cm	本/m ²		kg/a	kg/a	kg/a	%	g		%
石井町	あきさかり	8.01	9.04	79.5	17.3	428	1.3	71.1	73.4	59.8	113	20.8	4.0	8.8
	キヌヒカリ	7.26	8.28	84.0	18.3	357	0.0	64.3	66.7	53.1	100	20.9	4.5	9.2
上板町	あきさかり	8.06	9.14	81.0	18.0	432	0.0	95.8	73.4	61.5	106	19.9	4.5	8.6
	キヌヒカリ	8.03	9.08	88.0	20.0	354	0.0	81.8	68.2	54.7	100	20.8	5.8	9.4
鴨島町	あきさかり	7.30	9.06	75.6	17.9	404	1.0	66.7	75.3	58.6	102	21.6	4.1	8.0
	キヌヒカリ	7.27	9.01	79.8	18.1	349	0.1	67.3	72.2	57.8	100	22.2	5.1	8.7

注1) 試験期間は石井町は2011～2012年、上板町は2013～2014年、鴨島町は2011～2014年。

2) 移植期は石井町は5月5、13日、上板町は5月16、17日、鴨島町は5月13～21日。

3) 倒伏は0(無)～5(甚)、品質は1(上上)～9(下下)。蛋白質含有率は静岡製機TM3500による(玄米)。

表3 穀粒判別機による「あきさかり」の品質

作期	品種名	整粒歩合 %	白未熟粒 %				備考
			乳白	基部未熟	腹白	計	
早期	あきさかり	65.9	8.0	1.7	1.6	11.3	・2010、2011、 2013～2015年の平均
	キヌヒカリ	61.2	9.3	2.7	2.5	14.5	
早植え	あきさかり	65.4	4.8	1.4	1.6	7.8	・2010、2011、 2013～2015年の平均
	キヌヒカリ	52.3	13.9	3.1	2.4	19.4	
普通期	あきさかり	67.9	5.0	0.9	1.5	7.4	・2006～2008、2010、 2013～2015年の平均
	キヌヒカリ	55.7	12.3	2.4	3.2	17.9	

注1) 静岡精機穀粒判別機(ES-100)による。乳白粒には心白が、腹白には背白も含まれる。

表4 食味評価

試験年月日	試験者数	総合	外観	香り	硬さ	粘り	味
2014.7.22	20	0.15	0.00	-0.15	0.25	0.45 *	0.15
2016.1.29	21	-0.05	0.29	0.33	-0.52 *	0.24	0.00
平均		0.05	0.15	0.09	-0.14	0.35	0.08

注1) 基準品種はキヌヒカリ。

2) 評価基準は基準米を0として、-3(かなり不良、硬い、強い)～+3(かなり良い、柔らかい、弱い)の7段階。

3) *印は5%水準で有意。

(広田年信)

[その他]

研究課題名：主要農作物優良種子生産管理事業

予算区分：県単

研究期間：2006～2015年度

研究担当者：広田年信、山本善太、井方宏典